

キャラクター名 プレイヤー名

木羽恭一（きばきょういち） / 本名：鬼罵凶巻（きばきょういち）

シンドローム	エグザイル		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	フリーター
	エグザイル					
オプション			年齢	三十路	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	妄想	初期侵食率	31 %	
出自	天涯孤独	経験	汚れ仕事	邂逅	観葉植物（雑草）	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	2			7	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 壁に耳あり	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	10r+6	8	5		
@100	白兵	13r+6	8	5		
【通常コンボ】日本刀+爪剣+コンセ	白兵	10r+6	8	5+10		コスト5/リアクションダイス-1/日本刀+爪剣+コンセ
@100	白兵	13r+6	8	5+12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:		合計回避:	
日本刀		0		0	
ウエポンケース					

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
器物使い<ツールマスター>	P	N			
観葉植物（雑草）	P 幸福感	N 無関心			
千代田タオル	P 誠意	N 不信感			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

最大財産P:	6	残り財産P:	0
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセプト: エグザイル	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV								
壁に耳あり	2	1	Xジャー	-	-	-	-	
効果: すべての<情報:>に組み合わせ可。判定ダイス+[LV+1]								
餓鬼魂の使い	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象がHPダメージを受けた時に使用。バッドステータス「邪毒」をランク3で付与。1シーンLV回まで。								
爪剣	5	3	Xジャー	武器	単体	対決:白兵	-	
効果: 白兵の攻撃力+[LV×2]、ドッジの判定ダイス-1個。								
エンタングル	1	2	Xジャー	武器	-	対決:白兵	-	
効果: 対象に1点でもダメージを与えた場合、対象にバッドステータス「重圧」を与える。1シーンLV回。								
擬態の仮面	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 自らの顔や姿をその場に最も適したものに变化させるエフェクト。もし誰かが見破ろうとした場合<知覚>対決を行う。元の姿にはオートアクションで戻れる。								
異能の指先	1	3	Xジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 相手の記憶を読み取る。知りたい情報を対象の記憶から引き出せる。ただし相手に抵抗の意志がある場合は使用できない。GMは必要と感じたなら<RC>による判定を行わせてもよい。								
鍵いらずの歩み	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 普通の人が通れないわずかな隙間（ドアの隙間など）を通り抜けるエフェクト。								
ウォーキンググロゼット	1	-	Xジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 自分の衣装のデザインを自由自在に変更するエフェクト。見たことがある服装なら、どんな服装にも立ちどころに変わることができる。また、同意する対象の着ている服を変更することも可能。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「お兄ちゃん、ぼく、怖いよ」

うるんだ瞳があなたを見上げ、幼い手がぎゅっとあなたの服の裾を掴む。はととても幼くか弱い、つい守ってあげたくなるようなUGNチルドレン。

……に化けた三十路の青年だ。

鬼罵凶巻の仕事はUGNの裏切り者<ダブルクロス>の始末である。か弱い子どもや妖艶な美女、監視対象者が心を許すものに化けて油断させるのを得意としている。中でも鬼罵の子どもの演技は「あまりにもあざとすぎる」「本人と演技中とギャップがすごい」と大評判。その高い演技力で人を騙し、裏切りの証拠を掴み、屠ってきたスパイは数知れず。

鬼罵凶巻に殺せない裏切り者はいない。

「しかし任務をこなすうちに、彼にも1つの葛藤が生まれていた。

「三十路にもなって子どもの演技はキツすぎだろ……」

なお、裏切り者を殺すことに躊躇はない模様。